

弓削商船高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	特別講義 1	
科目基礎情報							
科目番号	0064		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	電子機械工学科		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	配布テキスト、各企業のパンフレットおよびHPなど						
担当教員	木村 隆則						
到達目標							
夏季休暇中に会社において実習する事で業務内容、社会人として自覚すべきことを学び、今後の学生生活そして5年次の進路決定時に役立たせる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
インターンシップ先企業担当者との連絡ができる。また、企業先から良好な評価を得ることができる。		先企業担当者との連絡ができ、企業先から良好な評価が得られる。		先企業担当者との連絡ができる、企業先からおおむね良好な評価得られる。		先企業担当者との連絡ができず、企業先から良好な評価を得られない。	
インターンシップ報告書・報告会での発表資料をまとめることができ、良好な態度で報告会に参加できる。		インターンシップ報告書・報告会の発表資料を作成でき、良好な態度で参加できる。		インターンシップ報告書・報告会の発表資料を作成でき、おおむね良好な態度で参加できる。		インターンシップ報告書・報告会の発表資料を作成できず、良好な態度で参加できない。	
学科の到達目標項目との関係							
専門 A1 専門 A2 教養 B1 教養 C2 教養 C3 教養 D1 教養 D2 専門 E1 専門 E2							
教育方法等							
概要		・夏季休暇中の会社実習（インターンシップ）先での評価と、インターンシップ報告書と報告会の内容により総合的に評価する。 ・インターンシップは5年次の就職活動や進学希望者の将来の企業選び、企業と学校とのつながりにも大きく影響を及ぼす。学校の代表として、真摯に取り込むこと。					
授業の進め方・方法							
注意点							
実務経験のある教員による授業科目							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		インターンシップで、自覚すべき事や具体的に企業担当者とのメールマナーなどを理解する。		
		2週	インターンシップ		各自各インターンシップ先の指導の下、業務内容、社会人として自覚すべきことを理解する。		
		3週	インターンシップ				
		4週	インターンシップ				
		5週	インターンシップ				
		6週	インターンシップ				
		7週	インターンシップ				
		8週	インターンシップ				
	4thQ	9週	インターンシップ				
		10週	インターンシップ				
		11週	インターンシップ				
		12週	インターンシップ				
		13週	インターンシップ				
		14週	インターンシップ報告書・報告会		インターンシップ報告書が作成でき、報告会で発表することができる。		
		15週	インターンシップ報告書・報告会				
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	0	0	30	40	100
基礎的能力	0	20	0	0	20	10	50
専門的能力	0	0	0	0	10	0	10
汎用的技能	0	0	0	0	0	10	10
リーダーシップ・コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10	20
態度・志向性（人間力）	0	0	0	0	0	10	10